アスモ

小林早苗

[登場人物]
進藤　　メイン
アスモ　　メイン

後輩　　最初だけ登場
社員　　最初と最後登場

[小道具]
・ランドセル（なければ形の四角いしっかりした背負えるバッグ）
・丸いシルエットのヘルメット的なもの（アシモっぽくみせたいため。なくても OK）
・バケツ
・雑巾

[衣装]
・作業着っぽい上着（あったら）
・ネクタイ（あったら。社員っぽさをだすため）

作業着を着て窓ふきをしている進藤。

進藤　　あー、きたねえなあ。なんで毎日拭いてんのに汚れるかね。
社員　　進藤さん。ちょっといい？
進藤　　あ、はい。（手を止めて）
社員　　あのさ、突然で悪いんだけど、今日から新人が来るから。
進藤　　え…。
社員　　手間だと思うけどさ、作業について教育お願いしてもいいかな。
進藤　　はい。（ちょっといやそうに）
社員　　じゃ、頼んだよ。今呼んでくるから。（退場）
進藤　　（窓ふき再開しつつ、社員がいなくなったのを見計らってぼやく。）社員はいい気なもんだよな。新人雇う余裕あるなら、後藤のこと切んなくてもよかっただろ。（雑巾を絞って、立ち上がる）あいつ今頃なにやってんのかな。

後藤が登場。

後藤　（上手から登場サス）先輩、そんな顔しないでくださいよ。俺なら大丈夫ですから。
進藤　そうは言っても、お前ここクビになったら、行くところないって言ってたじゃないか。
後藤　まあ、なんとかなりますよ。俺のために、先輩がモメることないです。それに、バイトが直談判したところで、聞いてもらえるわけないですし。
進藤　でも、妹さんの学費いるんだろ？
後藤　次、探します。（笑顔で）先輩、お世話になりました。俺もがんばりますから。

後藤は退場。

進藤　あ…（後藤を見送ったあと、作業に戻る）いいやつだったな、あいつ…。

アシモっぽく歩く人が登場。片手をあげて、しばし停止

進藤　（作業中にハタと気が付く）
アスモ　コンニチハ。（ロボっぽく）
進藤　キモ！
社員　（登場）あ、シンドウさん。これ、新しい作業員だから。
進藤　え、なんですかこの人。
社員　人っていうか、ロボットだから。
進藤　え？
アスモ　コンニチハ。ワタシハ（ポーズを変える）ニンゲンデス。
社員　ロボットだから。（１回目と同じトーンで）
進藤　今人間っていいましたよ。
社員　ほらヒト型ロボット。アなんとかモ、みたいな名前のさ。新型だって。
進藤　え！？　アシ●ですか！？　あのホン●の！？すげー！
社員　人員削減の一環でさ。新しい試みなんだって。まあ、作業的には進藤さんがやってるのと変わりないからさ。あ、俺これからミーティングだから。あとよろしくね。

社員は退場

進藤　あ、はい。おおー、時代は変わったなー。よう、自己紹介とかしてみろよ。
アスモ　ヒトニ、ナマエヲ　タズネルトキハ（ポーズを変える）マズジブンカラ　ナノル。
進藤　なんかムカツクな。あー、俺は、進藤。お前の先輩。よろしくな。
アスモ　ワタシハ（ぼかして）科学研究所ノ　ア（むにゃむにゃ）モです。
進藤　え？なんか途中聞こえなかったんだけど。
アスモ　ア…モ　デス。
進藤　なんでぼかすんだよ！　アシ●だろ、●ンダの。
アスモ　ピー　エラー発生。
進藤　なんでだよ。ん？なんだこれ。（アスモの背中をみる）アスモ！？

アスモ　バレタカ。
進藤　バレタカじゃねーよ！　●シモじゃないじゃん！　にせものだこれ！　ちょっと、社員さーん！
アスモ　（急にいい動きで進藤を押さえつける）まあまあ、落ち着いてくださいよ。
進藤　普通にしゃべりだした！
アスモ　（解放して）確かに私はアシ●ではありません。背中のこれも、バッテリーではなくただのランドセルです。
進藤　何で背負ってんだよ！　小学生か！
アスモ　（嫌味な感じに）小学生なら、今頃学校にいっているよね。
進藤　わかってるよ！　そこじゃねーよ！
アスモ　このランドセルには私の大事なものが詰まっているのです。夢とか。希望とか。うわばきとか。
進藤　やっぱり小学生じゃねーか！
アスモ　限りなく小学生に近いことは認めますが、私はロボットです。
進藤　そうだ、アシ●の偽物だろ！
アスモ　名前が似ているだけです。
進藤　どうみてもパクってるだろ。
アスモ　偶然です。だって私の名前の由来は「今日も明日も、がんばろう」という素敵なキャッチフレーズなんですから。それに引き替え●シモって（笑）「おい、てめえら！　さっさとしねえと置いてくぞ！」「まってくださいよ～親びん“あっしも”つれっておくんなせえ（揉み手で）」が由来でしょ（嘲笑）
進藤　全然ちげーよ！　●シモの名前の由来は、「AAdvanced 新しい時代、SStep in ステップ、IInnovative 革新、MOMobility モビリティ」の頭文字からとったんだよ。
アスモ　ウソ…かっこいい（信じられないといった様子で）負けた！
進藤　まあ名前以外でも勝ってるとこないけどな。
アスモ　ちょっと！　あるよ、いっぱい！　あんなコーヒーを運ぶだけのロボットといっしょにしないでください！
進藤　ああ、そうだ。仕事教えないと…お前窓とかふける？
アスモ　ふーふー（吹いている）
進藤　そういうトンチはいいから。いいか、俺達に求められてるのは、労働力だ。今から仕事の流れを説明するから。ちゃんと聞いとけよ。

進藤は、アスモにどのフロアを掃除していくか、などを説明。

進藤　…というわけだ。わかったな。
アスモ　はかりません。
進藤　どっちだよ！（頭につっこみ）つーか、わかってねーのかよ
アスモ　わたしは限りなく小学生に近いと言ったはずです。
進藤　なんで得意げなんだよ！　もういい、あとは実際に作業しながら教えるから。ついてこい。（退場しかけてふと、置きっぱなしだった道具をアシモに持たせようと度指をさす）おい、それ。
アスモ　は？　ああ、わかりました（納得したような感じで）ハア！（その場でブリッジ）

進藤　　いや、なにがわかったんだよ！　それ、そのバケツ持てって言ってんの。
アスモ　　そうならそうと言ってくださいよ。もう腰が限界ですよ。
進藤　　間接弱っ！　ロボットなのに。
アスモ　　（左右に動く　なんかインドっぽい動き）
進藤　　なにそれ？
アスモ　　もうバッテリーが残り少ないという警告です。
進藤　　動きが無駄過ぎるだろ！　　え、ていうかお前もう電池きれるの！？
アスモ　　もうほんとギリですね。（急に動きを止めて直立不動）ピーーーーーーーーーー！
進藤　　電池きれたー！（バケツを持って）もうなんでこんな使えないロボット…早く歩けこの！
　　（後ろから片手でアスモの背中を押しながら退場）
アスモ　　コンニチワ　ボクハ　アスモ！　キョウモ　アスモ　ガンバロー　ピー！
進藤　　うるせー！　（退場しながら）

照明が薄暗くなる。なごやかな BGM が流れる。
進藤、アスモ再度登場。舞台下手に位置。2 人だけに照明があたる。

進藤　　もう一回やるぞ。ここをこうして、こうまっすぐ拭く！（窓の拭き方を教える）
アスモ　　こーして…。（全然できない）
進藤　　ちがうちがう！　こーして、こう！
アスモ　　こーして、こう…。（まったくできない）
進藤　　あ～もうなんでそうなっちゃうんだよ～。（あまりのダメさに崩れ落ちる）

時が流れ、別の場面。

アスモ　　こーして…こう！（きちんとできる）
進藤　　お、そうそうそう。お前やればできるじゃん！
アスモ　　ま、当然ですね。（得意げ）
進藤　　お前ホント生意気だな。（といいつつ、ちょっと嬉しそう）

時が流れ、別の場面。

進藤　　よーし今日はこっから…。
アスモ　　（突然腕から蒸気を噴き出して窓を一気に掃除する）
進藤　　うわ！　蒸気が！　……ピカピカだ…。
アスモ　　（かなり得意げ）
進藤　　お前これ出来るなら最初からやっとけよ！！
アスモ　　あ。

暗転。プロジェクター「一か月後」

進藤　おはようございまーす。
社員　あ、進藤さん、おはよ。
進藤　おはようございます。あれ、今日アスモの奴遅いですね。いやー、あいつの教育苦労しましたけど、今じゃ俺以上に仕事はやくなったんですよ。性格は変わらずクソ生意気ですけどね。
社員　それなんだけどさ。あのロボット、廃棄処分が決まったんだよ。
進藤　え？
社員　無許可でつくられたロボットだったんだって、あれ。うちの総務部がずさんでさ。適当に購入したらしいんだよ。なんか返品きかないとかで、社長がカンカン。今日の朝礼ですぐ廃棄しろーってことになってさ。
進藤　ちょっと待ってください。
社員　いやホント、進藤さんには教育までしてもらったのに悪いね。
進藤　そんなのってないですよ。アスモは今どこにいるんですか？
社員　うん、朝礼後に業者が回収に来て持ってちゃった。あ、そうだ、ちょっと待ってて。（退場）
進藤　そんな…（呆然とする）
社員　（アスモの背負っていたランドセルを持ってくる）これ。なんかあのロボットが、進藤さんにって。
進藤　（黙って受け取る）
社員　たぶん今回で懲りて、もうロボット導入することもなくなると思うな。また新人来るかもね。ホント進藤さんには手間かけてばっかりで申し訳ないけど、よろしくね。（腕時計を見て）じゃ、また。（退場）
進藤　はい…（黙ってランドセルを開ける。紙が何枚か入っている。）手紙だ。

（手紙の内容がプロジェクターに映る※プロジェクターが使えない場合は、読み上げる）

手紙　「進藤さんへ」（紙をめくる）
「わけあって、本日で解雇されることになりました」（紙をめくる）
「最後に伝えておきたい重要なことがあります」（紙をめくる）
「餞別に」（紙をめくる）
「ロッカーに隠してあったお金をいただいたヨ！ウヒヒ　ゴチ（＞▽＜）／　～♪」

進藤はあわててロッカーを見る。

進藤　うぜえええええええええええ！　今月の食費なくなったあああ～～～～～～～！　あの野郎ーーーー！（怒りにまかせて次の紙を見る）

手紙　「あ、それと」

進藤　なんだよちくしょう！（紙をめくる）

手紙　「今までありがとう。」

進藤　　（急にしんみりとして）…なんだよ。急にまともなこと書くなよ。
（最後の一枚をめくる。ちょっと笑う）
（道具を持って）よし、いくか。
（しばらく考えてから、おもむろにランドセルを背負う）

進藤退場
プロジェクターに「今日も明日も、がんばろう！」と映る。しばらく映って消える

暗転

完

■初演
・2009 年 11 月　劇団だるい 003「前略疾走」
・於　荻窪メガバックスシアター

■上演等をご希望の方へ
劇団だるい WEB に記載の台本ご利用上の注意事項をご確認の上お問い合わせください。
URL　https://www.gekidandarui.com/contact/